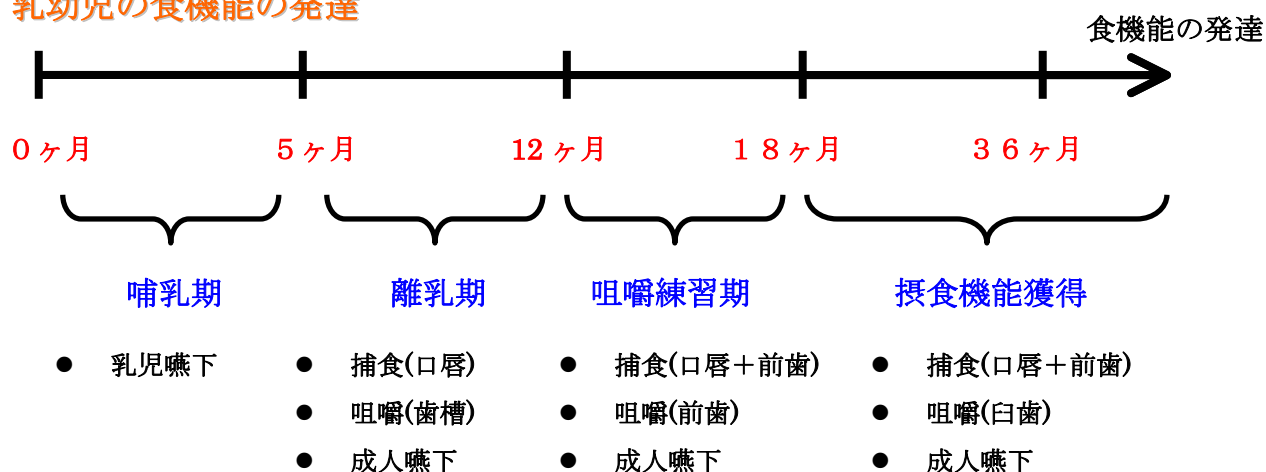


# ☆☆ 乳幼児と食の関係 ☆☆

赤ちゃんは生後しばらくの間、母乳やミルクなどの乳汁栄養で育てられます。発育と共に乳汁のみでは栄養不足となります。栄養を食べ物から摂取するために、噛んで飲み込むという「食べる」能力を育てることが必要です。離乳期を経て、赤ちゃんはさまざまな未知の味や舌触りを知り、きちんと栄養を摂取できるようになり、将来の食生活に繋がる基礎を身につけていきます。

## ● 乳幼児の食機能の発達



## ● 離乳完了までのステップ

区分	哺乳期	離乳初期	離乳中期	離乳後期	離乳完了期
月齢(ヶ月)	0～4	5～6	7～8	9～11	12～15
食形態	液状	ドロドロ状	舌でつぶせる 固さ	歯ぐきでつぶせる 固さ	歯ぐきで噛める 固さ
咀嚼機能	液体を 飲み込める	ドロドロとした 物を飲み込める	舌で押しつぶし、 モグモグと飲み 込める	歯ぐきで噛める	乳歯で噛める
食品名	母乳 粉ミルク	白湯 薄めた果汁 幼児用プリン 幼児用ゼリー	果汁 つぶし果実 アイス	刻み果実	ヨーグルト ジャム

### 注意点

※ 果汁、卵を使用したプリンやアイスなどはアレルギーに注意！！

※ 1歳未満の乳幼児にハチミツ投与は厳禁！！（乳児ボツリヌス症）

### ■□ 乳児ボツリヌス症とは □■

まだ腸内細菌の発達が未熟な1歳未満の乳幼児に感染し、感染源はハチミツ、家庭のほこり、土壌などです。症状としては便秘、吸乳力の低下などがあげられますが、重症例では突然呼吸が停止し、死に至る例もあり、乳幼児突然死症候群との関連が示唆されています。

